

令和3年9月28日

奈良県立高田高等女学校・高田高等学校
創立百周年記念事業実行委員会 委員各位

奈良県立高田高等女学校・高田高等学校
創立百周年記念事業実行委員会
実行委員長 中尾勝二

創立百周年記念事業実行委員会第9回企画委員会の協議内容について(報告)

時下、益々御清祥のこととお喜び申し上げます。

高田高等学校では、来る2021年(令和3年)11月1日にめでたく創立百周年の慶事を迎えるにあたり、各専門委員会で協議し、諸事業の具体化を進めているところです。

コロナ禍の大変厳しい日常の中、企画委員会及び専門委員会の委員の皆様には各記念事業の推進のためにご尽力をいただいていることに厚くお礼を申し上げます。

さて、令和3年9月12日(日)に開催しました第9回企画委員会におきましては、各専門委員会における取組内容やその進捗状況について、互いに確認し合うとともに、各専門委員会の提案について、詳細に協議いたしました。

特に、全校生徒参加の学校行事として位置付けている11月1日の記念式典については、新型コロナウイルス感染症が若年年齢者に拡大し、学校においても日々の教育活動や部活動及び学校行事が延期または中止されている厳しい現状から、委員の皆様と慎重に協議を行い一年間延期(詳細は今後調整)することに決定しました。

各専門委員会委員長より報告・提案され、企画委員会にて審議の上決定されました内容を、下記のとおり、実行委員各位に報告させていただきますので、ご確認くださいようお願い申し上げます。

なお、詳細につきましては、高田高校HPの100周年記念事業実行委員会コーナーに議事録を掲載いたしておりますので、ご覧いただけますようお願いいたします。

また、このことについて、ご質問等がございましたら、

実行委員会事務局(高田高等学校): 0745-22-0123 までお問い合わせ願います。

記

1 はじめに

- (1) 開会挨拶 中尾実行委員長、乾校長、右馬PTA会長
- (2) 出席委員紹介(実行委員会名簿により) 出席者 27名

2 議事

(1) 経過報告

次のことについて、中尾実行委員長より資料に基づき報告・審議がなされた。

- ① 第8回企画委員会(令和3年6月20日開催)協議内容を資料に基づき確認
- ② 全般的な進捗状況について説明

- ・ 創立100周年記念事業へのスケジュール・記念事業予算案(6,833万円)8/31現在

- ・ 記念事業寄付金(特定5月末終了、一般10月末迄)

(2) 各専門委員会から報告・提案及び協議・決定事項(各委員長等から説明)

① 総務委員会

- ・ 記念品・返礼品等の配付計画の確認と検討中の返礼品(不織布袋、ステンレスドリンクボトル 泉州おくばりタオル、今治タオル)についての紹介と名入りデザインの説明。

② 記念誌編纂委員会

- ・ 「奈良県立高田高等学校百年物語」の編集経緯と本の概要説明。今後の日程については、印刷、製本完成(9月末)・マスコミ等への広報(10月初旬)・発刊日(11月1日)。
- ・ 「百年物語」は本校が百年に亘り紡いできた生徒と先生の教育活動を、新書版240頁にまとめられている。発行部数は4,000部(内400部は上製本)である。
- ・ 「高田高校100周年記念誌」は、知事・教育長、歴代校長等からの祝辞、卒業生の回想、創立当初からの教育活動の写真、創立90周年から100周年までの各種資料等で構成されている。なお、記念誌には記念式典当日の様子(写真)も掲載する予定である。

③ 募金委員会

- ・ 特定募金は5月31日で終了し、34,962,000円。一般募金は8月31日現在で8,874,635円。一般募金の期間は10月31日迄で、更なる御協力に期待する。

④ 記念事業委員会

- ・ 主たる事業の同窓会館(鳩蘭会館)の改修事業は5月末に完了。他の記念事業は学校と調整しながら実施していく。

⑤ 行事・式典委員会

◎記念式典実施についての協議(主な意見)

- ・ 11月1日に記念式典を実施することで諸準備を進めてきた。工夫して実施すべきである。
- ・ オンラインを活用して予定通りに式典の実施を検討してはどうか。
- ・ 現3年生は昨年度からコロナ禍の影響で様々な学校行事が中止されるなど、影響を受けてきている、せめて記念式典の形を変えてでも実施できないのか。
- ・ 現在のコロナ感染症の感染拡大状況から、可能な限りの感染対策を行ったとしても実施は困難である。
- ・ 10月末には、コロナ感染状況が減じているかもしれないが、現時点での判断が必要である。
- ・ コロナ感染症の感染拡大は終息が見通せず、ワクチン接種が進んでいるとは言え、若者への感染が拡大している中、学校行事として全校生徒参加の記念式典の実施は不安が大きい。
- ・ 1年延期して、コロナ感染等が落ち着いた時期に全校生徒の参加で実施が望ましい。(多数意見)
- ・ 延長後の記念式典開催日時・会場等は学校行事として学校に委ねていきたい。

(3) その他

- ・ 学校名看板(木製)を鋳物製銘板として製作及び募金者芳名録の製作・・・松岡特殊資材
- ・ 記念事業等の内容紹介リーフレットの作成、学校沿革史板の作成・・・サカタ企画印刷
- ・ 「奈良県立高田高等学校物語」の執筆者井岡康時氏の意向に沿った対応(学校図書館への本の寄贈)について検討していく。
- ・ 募金者への返礼品等は、令和3年11月中旬以降に順次郵送していく。その仕分け作業へ協力をお願いする。

◎次回の企画委員会の開催は未定。

記念式典の延期に伴う諸事業については、実行委員長と学校長に一任して進めていく。